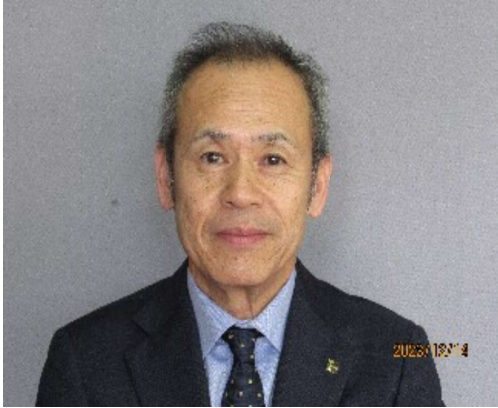




こくろうよなご

号外
2024年1月1日
発行責任者 倉下文明
編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



組合員・ご家族の皆さま、新年明けましておめでとうございませう。地本執行部を代表して、新年のご挨拶をさせていただきます。

安全が自己責任に？！

一昨年のロシアのウクライナ侵略、そして、本年10月から続くイスラエル軍のハマスへの殺戮など、目を覆うばかりの光景がテレビ等を通して連日伝えられています。一日も早い停戦と戦争や紛争の無い世界を目指して、微力ながら奮闘していく決意を冒頭、表明したいと思います。

今こそ労働組合の出番！ 力一杯奮闘しよう！

執行委員長 倉下 文明



23春闘では、各企業における人手不足と急激な物価高を背景に、近年にない大幅な賃上げ回答となりました。JR西日本会社でも、

賃上げは組合の力で！

昨年12月5日、山陽線里庄〜笠岡間で、停止手配人が貨物列車と触車、死亡するという痛ましい労災事故が発生しました。この8

月にも、感電死亡労災を発生させるなど、JR西日本会社の安全マネジメントの在り方に、大きな懸念を持たざる得ない現状にあります。本年は福知山線事故から19年、伯備線事故から18年目となります。事故の悲惨さや教訓を風化させることなく、継承していくことが私たち労働組合に課せられた重要な課題であることは言うまでもありません。コロナ禍で大急ぎで進められた「構造改革」という名の効率化施策により、離職に歯止めがかからず、各職場で要員不足を指摘する声が出されています。

仕事優先で、安全は自己責任とされていなかば検証が必要で、1月24日には、根雨の安全碑前で西労組米子地本と伯備線触車事故合同献花式を執り行います。労組が協力し安全な職場づくりを奮闘していく決意です。

24春闘を前に、既に賃上げを表明してはいますが、人手不足という企業の都合によって引き上げられた賃金は、いずれ企業の都合で引き下げられかねません。そういう意味では、労働組合の力で要求の前進を勝ち取る事が大変重要だと思えます。

好景気の中でも出さなかつたベア3000円の回答がありました。物価高には到底追いつくはずもなく、実質賃金は低下の一途を辿っています。その一方、大企業が貯めこんだ内部留保は500兆円を超え、過去最高を更新し続けるなど、歪な分配構造により、国内消費は冷え込んだままです。先進資本主義の中で20年来賃金が上がらないのは、日本だけだと言われている「不安」を煽られ、私たち労働組合も闘争の自粛へと追い込まれて来た結果でもあると言えます。

岐路に立つローカル線

各機関に置かれても、「一職場一要求」「現場長への申入れ」運動の強化を要請するものです。そして、企業内に留まらず、地域の仲間と一緒に24春闘の前進を勝ち取るにはありませんか。

昨年4月、「改正地域公共交通活性化再生法」が成立し、芸備線の一部区間について、鉄道の存続かバス転換などについて議論する「検討協議会」が設置されることになりました。その中で、芸備線と結節する木次線でも路線廃止の懸念が大きくなっていることはご承知のとおりです。昨年来、JR西日本会社が、路線別・区間別の利用人員や収支を公表、「JR単独での維持は困難」としてはいますが、新幹線をはじめ収益の上がる路線も含めて国鉄から引継いだ経過をないがしろにすることは許されることではありません。そして、鉄道は一旦廃線となれば、再建するのはほぼ不可能であるといっても過言ではありません。また、ローカル線の廃止は、地方における雇用の場の喪失にも直結する問題であり、過疎化に拍車を掛けることにもなります。採算性だけでなく、存廃を議論するのではなく、鉄道に限らず、バスやタクシーなど含めた公共交通全体の在り方の議論こそ求められていくと思えます。

泥沼化する金権腐敗！

物価高で困窮する国民生活を目に、自民党の金権疑惑は泥沼の様相を呈しています。政権の人気取りの減税ラッシュは、財赤字という負の遺産を子や孫の代へと先送りするものでしかありません。本年4月には、島根一区の補欠選挙が闘われます。推薦候補の亀井亜紀子氏の当選目指して、さらに、解散総選挙を睨んで、鳥取2区の湯原俊二氏への支援等、政権交代の実現に全力で取組みます。

全組合員参加で議論！

最後に、国労の課題と方向性についてです。国労の組織と運動の継承を目指した「5年ビジョン」も最終年度となりました。国労組織の在り方など、忌憚ない意見を頂き、これからの方向性を見いだせる年にしなければと決意しています。組合員・ご家族のご健勝を祈念し、挨拶とします。

本年も宜しく

お願いいたします。

- | | |
|--------|-------|
| 執行委員長 | 倉下 文明 |
| 執行副委員長 | 青柳 利寿 |
| 書記長 | 吾郷 隆志 |
| 執行委員 | 細田 浩 |
| 会計監査員 | 藤原 輝明 |
| 会計監査員 | 中原 昭彦 |
| 書記 | 宮井 明恵 |